

男女共同参画関連科目の開講状況(平成25年度)

◆ 男女共同参画を理解するために
(女性学・ジェンダー論、歴史・文学などの視点からの科目)

No	開設部局等	開講学期	曜日 時限	対象 年次	科目名等	講義コード	テーマ	担当教員名 (職名)	科目区分
1	教養教育	前期	月 1,2	1年次	平和と人権-グローバル化とジェンダー視点	11006001	この講義では、「人権」を通して平和について考えます。平和を脅かすものは、戦争や争いとどまらず、様々な形態の暴力や差別、貧困や飢餓、さらには経済的搾取等が考えられます。国際化や情報化の流れの中で、経済・文化などのあらゆる分野におけるグローバル化が進み、特に社会的弱者の人権が侵害されています。講義では、現実社会において平和が脅かされている現状を知り、その原因を一緒に考えていきたいと思います。問題の所在をわかりやすくするために、DVD等の視聴覚教材を積極的に活用します。受講生一人ひとりが、どのように平和を創っていくかを考えるきっかけとなるような授業展開を目指します。	森 玲子 (教授)	平和科目
2	教養教育	後期	火 3,4	1年次	生活をとりまく家族・地域・産業	51008002	日本社会の家族・地域・産業といった生活世界の各領域の仕組み、特徴を明らかにするとともに、産業化に伴う社会構造の変動が我々の地域生活、家族生活といった生活領域にどのような変動をもたらしたかを検討していきたい。	西村 雄郎 (准教授)	パッケージ別科目
3	教養教育	前期	火 3,4	1年次	文化人類学の世界	54004001	主として担当者による文化人類学的フィールドワーク(現地調査)に基づき、東南アジア、特にフィリピンの社会・文化を紹介・検討することを通して、文化人類学的視点・方法を論じる。	長坂 格 (准教授)	パッケージ別科目
4	教養教育	後期	火 1,2	1年次	文化人類学の世界	54004002			パッケージ別科目
5	教養教育	前期	木 3,4	全学	ジェンダーと社会	65210001	現在の社会におけるジェンダーを巡る諸問題について理解し、なぜ男女共同参画が必要なのか、どうすれば男女共同参画社会が実現できるのかについて考える。男女共同参画の必要性を理解すると共に、男女共同参画推進のための各種制度に関する基本的な知識を習得し、現状の問題点について考えることができるようになることを目指す。なお、授業は複数の講師によるオムニバス形式で行う。	坂田 桐子 (教授)	領域科目
6	教養教育	前期	木 1,2	1年次	文化人類学A	65030001	人間と文化の関係についての人類学的見方の習得(1)	高谷 紀夫 (教授)	領域科目
7	教養教育	前期	木 5,6	1年次	文化人類学A	65030002			領域科目
8	教養教育	前期	月 5,6	1年次	文化人類学A	65030003		佐野 真理子 (教授)	領域科目
9	教養教育	前期	水 5,6	1年次	文化人類学A	65030004			領域科目
10	教養教育	後期	月 5,6	1年次	文化人類学B	65031001		人間と文化の関係についての人類学的見方の習得(2)	長坂 格 (准教授)
11	教養教育	後期	水 5,6	1年次	文化人類学B	65031002	佐野 真理子 (教授)		
12	教養教育	後期	木 1,2	1年次	文化人類学B	65031003	高谷 紀夫 (教授)		領域科目
13	教養教育	後期	木 5,6	1年次	文化人類学B	65031004			領域科目
14	総合科学部	前期	水 5,6	2年次	ジェンダー学	AF114001			身近な問題をとりあげ、それらをジェンダーの視点から分析することを学ぶ。
15	総合科学部	後期	水 5,6	3年次	ジェンダー学演習	AF426001	異文化のジェンダーのありようを知ることで、自文化のジェンダーのありようを問い直し、私たちが社会のなかでいかに女となり、男となっていくのかを考える。具体的には、アフリカで行われている性器加工術(いわゆる割礼)をとりあげる。	大池 真知子 (准教授)	専門教育科目
16	総合科学部	前期	火 3,4	3年次	ヨーロッパ史研究演習	AA803001	研究文献の読解力を高める。ジェンダー(性差)史をテーマとしたテキストを通じて、西洋諸国の近現代史について理解を深める。	長田 浩彰 (教授)	専門教育科目
17	総合科学研究科	前期	火 3,4	M1年次	異文化理解	AZ4C0401	歴史が動き、異なる文化が交わるときには、さまざまな力関係が働く。本授業では文学作品を読んで、それらの力関係をジェンダー、民族、人種、階級、国籍などの観点から批判的に分析することを学ぶ。	大池 真知子 (准教授) SCHLARB, HANS MICHAEL (准教授)	専門教育科目
18	総合科学研究科	後期	水 3,4	M1年次	民族学研究	AZ4B0101	文化人類学・民族学に関する基本的知識の習得とその応用をめざす。	高谷 紀夫 (教授) 長坂 格 (准教授)	専門教育科目

男女共同参画関連科目の開講状況(平成25年度)

◆ 男女共同参画を理解するために
(女性学・ジェンダー論, 歴史・文学などの視点からの科目)

No	開設部局等	開講学期	曜日 時限	対象 年次	科目名等	講義コード	テーマ	担当教員名 (職名)	科目区分
19	文学部	前期	火 3,4	2年次	現代文学概説	BK208201	昭和以降の主要な文学潮流を検討するなかで、雑誌『女人芸術』に集まった女性作家や戦後の女性作家の動きなどを取り上げて、文学にジェンダーがいかに関わっているかを学ぶ。	有元 伸子 (教授)	専門教育科目
20	文学部	後期	火 7,8	2年次	現代文学研究法	BK208302	昭和期の三人の作家の作品をとりあげて、女性がいかに描かれているか/語っているかを考察するとともに、映画化による変化も検討し、時代と文学、ジェンダーの関連を学ぶ。	有元 伸子 (教授)	専門教育科目
21	教育学部	後期	木 1,2	1年次	生活経営学	CC420302	生活経営の内容に関して人間生活教育(家庭科教育)の観点をふまえて解説する。人間生活は、あまりにあたりまえすぎて、これまで必ずしも研究の対象として取り扱われてはこなかった。生活経営学では、個人の生活や家庭生活を研究対象としてとらえる。個人の生活や家庭生活を、生活とはどのようなものであるかという生活構造の視点および生活が外部環境との相互作用によって成り立っているという視点から理解することを目標とする。具体的には生活時間の構造の学習をとおして、生活経営、家庭経営について学習する。	平田 道憲 (教授)	専門教育科目
22	教育学部	前期	金 5,6	3年次	生活設計論	CC421905	人間生活教育(家庭科教育)における生活設計の教材化について解説する。生活設計論においては、生活設計を、大きく短期的・中期的生活設計と長期的生活設計に分けて考える。前者では日常生活をどう計画していくか、後者では人間の生涯にわたる生活をどう計画していくかについて学習する。	平田 道憲 (教授)	専門教育科目
23	教育学部	後期	火 7,8	3年次	Japanese Society and Gender Issues	C7002032	By taking this course, students will *Gain understanding of gender equality issues in the Japanese society: gender concept related to a household, role divisions in a workplace, changes of policies in the education system, and gender related social issues. *Learn to critically examine the way Japanese women/men have been represented socially and historically, and its reality *Gain basic understanding of feminist theories in the context of Japanese society Covered topics : feminist theories, gender equality issues in family relations (domestic and international marriage, children's right), education, workplace, and current issues such as stalking, sexual harassment, reproductive rights, and gender representation in mass media.	恒松 直美 (准教授)	専門教育科目 短期交換留学プログラム(HUSA)留学生用 特別科目(英語)
24	教育学研究科	前期	火 7,8	M1年次	教育とジェンダーの国際比較論特講	NMQ10080	確立された近代学問及び研究において無視又は軽視される傾向にあった「女性」の存在を再検討し、研究される「対象」から「主体」へと転換を図ることを目指したジェンダー理論の視点について学ぶ。主に、異なる文化圏のジェンダーの問題について考察し、教育との関わりを分析する。多様な文化・宗教・社会的要素との関わりの中で理論構築を模索するジェンダー理論の発展について学び、知識構築の枠組みを批判的に分析する力を養う。	恒松 直美 (准教授)	専門教育科目
25	国際協力研究科	後期	集中	M1年次	教育開発とジェンダー	X0050439	教育開発とジェンダーの問題について、その理論的枠組み、発展途上国における女子教育の現状と阻害要因を概観した後で、東南アジア・アフリカ諸国におけるジェンダー政策およびジェンダーの視点を取り入れた教育プログラムの展開、さらにイスラームとジェンダー再解釈の事例を検討する。これにより、ジェンダーの視点から発展途上国における教育発展の問題を捉えなおし、課題の解決に向けた教育開発の方向性を考えたい。	服部 美奈 (非常勤講師)	専門教育科目